

【学芸員課程】 留学パターン別

「学芸員課程設置科目」の履修方法

教務事務センター
学校・社会教育講座事務室

2026.03.19

1. 対象となる留学

- (1) 大学間協定に基づく「派遣留学制度」による留学
- (2) 大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」による留学
- (3) 学部間協定等に基づく海外研修・留学プログラムによる留学
- (4) 認定校留学制度による留学
- (5) 異文化コミュニケーション学部設置科目「海外留学研修C1・C2」「Study Abroad in Asia A・B」、または、GLAP設置科目「Study Abroad 1/2」による留学

2. 履修に関する基本ルール (1/2)

- (1) 5月末日（秋学期は10月末日）までに「帰国届」を提出して履修登録を行う場合、帰国年度の春学期科目及び通年科目（秋学期は秋学期科目のみ）を履修することができる。この場合、帰国年度の当該学期の学籍は「在学」である必要がある。
- (2) 秋学期に出国して翌年度の5月末日までに「帰国届」を提出して履修登録を行う場合は、「通年科目の接続」はできない。出国年度の春学期に履修していた通年科目については、帰国年度の春学期に改めて履修登録を行わなければならないが、出国年度の春学期までに行った履修のための手続きやガイダンス等への出席、授業の内容を、帰国年度の履修に引き継ぐことを認める。
- (3) 休学留学を選択して出国年度の秋学期のみを休学した場合、帰国年度の4月1日付で自動的に復学となる。この場合、帰国年度の春学期を個人都合で休学すると履修登録の権利を放棄することになるため、通年科目について、出国年度の春学期までに行った手続き等を帰国年度の履修に引き継ぐことが認められなくなる。

2. 履修に関する基本ルール (2/2)

(4) 秋学期に出国して翌年度の6月以降に「帰国届」の提出を行う場合、通年科目の出国年度の春学期の履修と帰国年度の秋学期の履修とを接続し、通年で履修したものとすることができる。

この「通年科目の接続」は、原則として翌年度の履修に限るものとし、翌々年度に亘ることはできない。

(5) 半期の留学ならびに私費留学の場合は「通年科目の接続」の対象外となるので注意すること。

(6) 異文化コミュニケーション学部設置科目「海外留学研修C1・C2」「Study Abroad in Asia A・B」、または、GLAP設置科目「Study Abroad 1/2」を履修中の場合はそれ以外のすべての科目※1を履修することはできない。

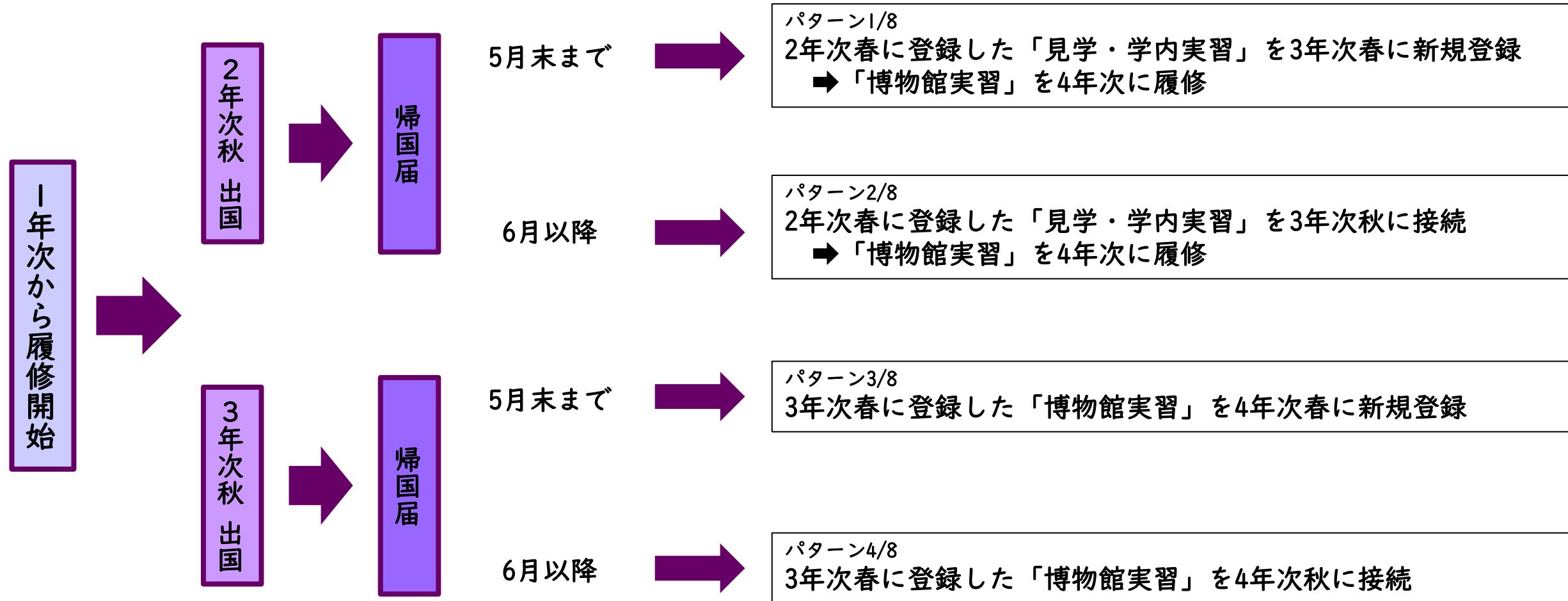
(※1 異文化コミュニケーション学部設置の期間外科目は除く)

3. 基本的な履修モデル（「必修科目A」「必修科目B」については配当年度初年次に履修することを想定）

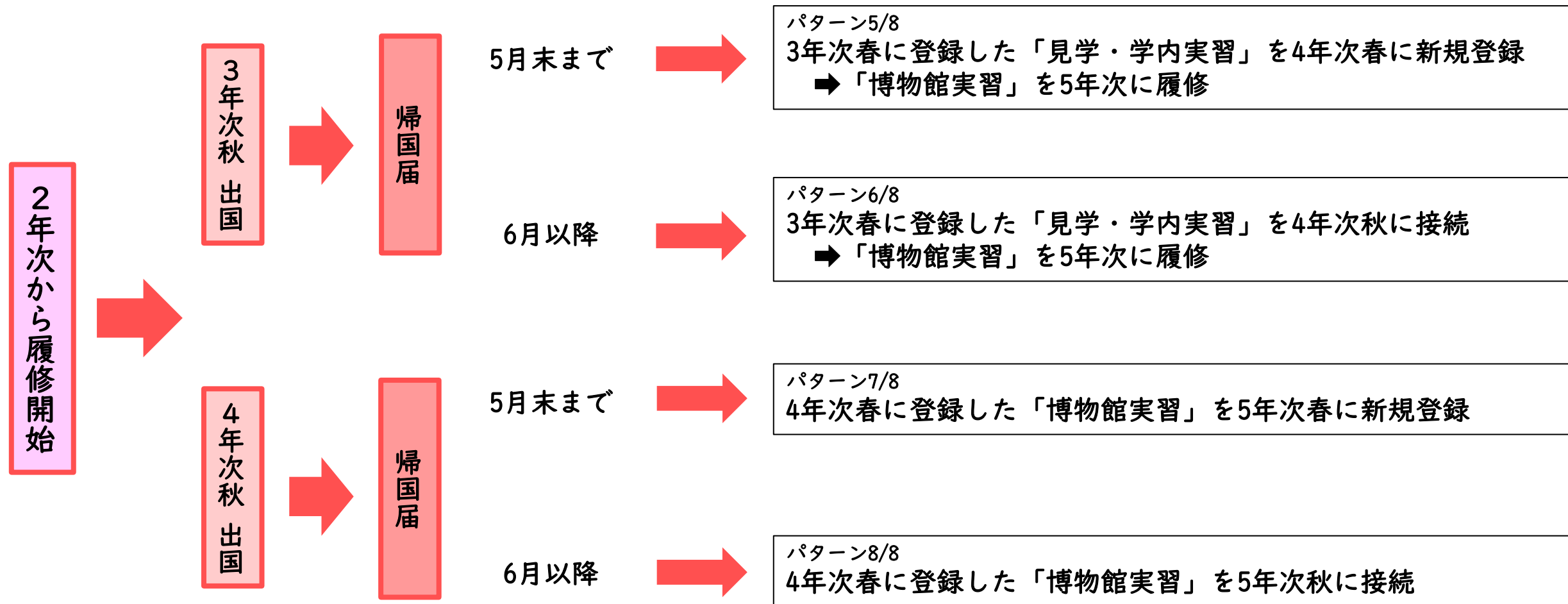
	1年目		2年目		3年目		4年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*	博物館概論	博物館展示論	博物館資料保存論	博物館経営論				
	博物館資料論	博物館教育論		博物館情報・メディア論				
	生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論Ⅰ		選択必修①	選択必修②				
実習関係			見学・学内実習		博物館実習（館園実習）			
			（4月）全体G	（12・1月） 事前指導・個人面談	（4月）全体G			

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論Ⅰ」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
斜体の科目については卒業時までには単位が修得できていればよい。配当年度等は科目表で確認すること。

4. 留学パターン別履修モデル ガイドチャート (1/2)



4. 留学パターン別履修モデル ガイドチャート (2/2)



5. 留学パターン別履修モデル (1/8)

(1) 1年次から学芸員課程を履修。

2年次の秋学期に出国し、3年次の春学期5月末までに「帰国届」を提出。

➡帰国年度（3年次）春学期の履修登録が可能。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度に改めて履修登録が必要。
 出国年度に履修登録を行い、出国までに完了した手続きや実習等は、帰国年度の履修に引き継ぐことが可能。

	1年目		2年目		3年目		4年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*	博物館概論	博物館展示論						
	博物館資料論	博物館教育論						
	生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論I							
実習関係			見学・学内実習		見学・学内実習		博物館実習（館園実習）	
			(4月) 全体G		(4月) 全体G (オンライン)	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論I」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
 「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までに単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (2/8)

(2) 1年次から学芸員課程を履修。

2年次の秋学期に出国し、3年次の春学期6月以降に「帰国届」を提出。

異文化コミュニケーション学部設置科目「海外留学研修C1/C2」または「Study Abroad in Asia A/B」を履修。

GLAP設置科目「Study Abroad 1/2」を履修。

➡帰国年度（3年次）春学期の履修登録は不可。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度秋学期の履修に接続可。

	1年目		2年目		3年目		4年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*	博物館概論	博物館展示論						
	博物館資料論	博物館教育論						
	生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論I							
実習関係			見学・学内実習		見学・学内実習		博物館実習（館園実習）	
			(4月) 全体G		(4月) 全体G (オンライン)	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論I」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。

「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時まで単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (3/8)

(3) 1年次から学芸員課程を履修。

3年次の秋学期に出国し、4年次の春学期5月末までに「帰国届」を提出。

➡帰国年度（4年次）春学期の履修登録が可能。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度に改めて履修登録が必要。
 出国年度に履修登録を行い、出国までに完了した手続きや実習等は、帰国年度の履修に引き継ぐことが可能。

	1年目		2年目		3年目		4年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*	博物館概論	博物館展示論						
	博物館資料論	博物館教育論						
	生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論I							
実習関係			見学・学内実習		博物館実習（館園実習）		博物館実習（館園実習）	
			(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談		(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論I」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
 「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までに単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (4/8)

(4) 1年次から学芸員課程を履修。

3年次の秋学期に出国し、4年次の春学期6月以降に「帰国届」を提出。

異文化コミュニケーション学部設置科目「海外留学研修C1/C2」または「Study Abroad in Asia A/B」を履修。

→帰国年度（4年次）春学期の履修登録は不可。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度秋学期の履修に接続可。

	1年目		2年目		3年目		4年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*	博物館概論	博物館展示論						
	博物館資料論	博物館教育論						
	生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論I							
実習関係			見学・学内実習		博物館実習（館園実習）		博物館実習（館園実習）	
			(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論I」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までに単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (5/8)

(5) 2年次から学芸員課程の履修を開始。

3年次の秋学期に出国し、4年次の春学期5月末までに「帰国届」を提出。

➡帰国年度（4年次）春学期の履修登録が可能。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度に改めて履修登録が必要。
 出国年度に履修登録を行い、出国前に完了した手続きや実習等は、帰国年度の履修に引き継ぐことが可能。

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*			博物館概論	博物館展示論						
			博物館資料論	博物館教育論						
			生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論Ⅰ							
実習関係					見学・学内実習		見学・学内実習		博物館実習（館園実習）	
					(4月) 全体G		(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論Ⅰ」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
 「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までには単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (6/8)

(6) 2年次から学芸員課程の履修を開始。

3年次の秋学期に出国し、4年次の春学期6月以降に「帰国届」を提出。

➡帰国年度（4年次）春学期の履修登録は不可。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度秋学期の履修に接続可。

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*			博物館概論	博物館展示論						
			博物館資料論	博物館教育論						
			生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論Ⅰ							
実習関係					見学・学内実習		見学・学内実習		博物館実習（館園実習）	
					(4月) 全体G		(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論Ⅰ」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までには単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (7/8)

(7) 2年次から学芸員課程の履修を開始。

4年次の秋学期に出国し、5年次の春学期5月末までに「帰国届」を提出。

➡帰国年度（5年次）春学期の履修登録が可能。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度に改めて履修登録が必要。
 出国年度に履修登録を行い、出国前に完了した手続きや実習等は、帰国年度の履修に引き継ぐことが可能。

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*			博物館概論	博物館展示論						
			博物館資料論	博物館教育論						
			生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論Ⅰ							
実習関係					見学・学内実習		博物館実習（館園実習）		博物館実習（館園実習）	
					(4月) 全体G		(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論Ⅰ」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
 「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までには単位を修得しておくこと。

5. 留学パターン別履修モデル (8/8)

(8) 2年次から学芸員課程の履修を開始

4年次の秋学期に出国し、5年次の春学期6月以降に「帰国届」を提出

➡帰国年度（5年次）春学期の履修登録は不可。出国年度春学期履修の通年科目は、帰国年度秋学期の履修に接続可。

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
科目履修*			博物館概論	博物館展示論						
			博物館資料論	博物館教育論						
			生涯学習概論（学・司）、 または生涯学習概論Ⅰ							
実習関係					見学・学内実習		博物館実習（館園実習）		博物館実習（館園実習）	
					(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	(12・1月) 事前指導・個人面談	(4月) 全体G	

* 「見学・学内実習」の履修に際して、前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し、さらに「博物館資料論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論Ⅰ」）4科目のうち少なくとも2科目（4単位）を修得していなければ、履修資格はない。
「必修科目C」および「選択必修科目」については省略。卒業時までには単位を修得しておくこと。

6. 必要な手続きなど

(1) 留学しようと思ったら…

留学するにあたり知っておくべき情報を関係部署等を通じて収集し、留学と学芸員課程とを両立させるための方法と、その際に必要な手続き等を把握してください。

国際センター：留学全般に関する事項

教務事務センター：学籍や科目の履修に関する事項

学校・社会教育講座事務室（学芸員課程担当）：実習やガイダンスに関する事項

(2) 留学することが決まったら…

教務事務センターと学校・社会教育講座事務室に報告し、出国前に必要な手続きについて確認してください。

(3) 出国前に…

国際センターに「留学願」を提出し、教務事務センターで「通年科目の接続」やその他帰国後の履修について確認してください。実習に関する手続きについては、学校・社会教育講座事務室で確認してください。

(4) 帰国後直ちに…

国際センターに「帰国届」を提出し、教務事務センターで「通年科目の接続」や今後の履修について確認してください。学校・社会教育講座事務室にも帰国した旨を報告し、実習に関する手続きについて確認をしてください。